

種智院大學 同窓會報

第12号

平成4年5月18日

京都市南区壬生通八条下る東寺町545
種智院大学同窓会

図書館に「VTR機器一式」寄贈

昨年6月の総会において、同窓会より新校舎竣工の記念品を寄贈することを確認、正副会長会にて図書寄贈を決定、竣工式当日、同窓会長池田肇輝殿下より発表がなされた。この件について、池田会長より、頼富本宏図書館長に寄贈の意が伝えられ、これをうけて、大学図書館委員会(委員長 山崎泰廣教授)で慎重に検討してきた結果、たんに図書を購入するのではなく、近年の図書館で着目を集めてきている視聴覚機器を導入し、図書館に新たな可能性を開くことが必要との結論に達した。本学新校舎には特別教室が設けられ、最新の情報機器の導入等を考慮しているが、現在勧募状況及び入金状況との関連から、この方面には手がつけられていない。このため新校舎での特色ある教育活動を行うべきスタート台が十分にそろわない状況にあることを考えると、このたびの図書館委員会の決定は同窓会の新校舎建設に注いできたエネルギーを十分に体したことにつながるものといえよう。

種智院大学図書館における視聴覚教材は近年の充実化の傾向にあるものの、これを利用するには講堂のビデオプロジェクターがあるが、これは講義の補助教具としての性格が強く、視聴覚教材を利用する機会は、ごく限られたものとならざるをえない。また、近年は図書=活字という固定観念を除去してテレビで育った現代青年の関心にあわ

せて、視聴覚教材が著しい発達をとげ、各大学図書館のみならず公共図書館等においても、ビデオブースを設置することがかなり一般的になってきている。

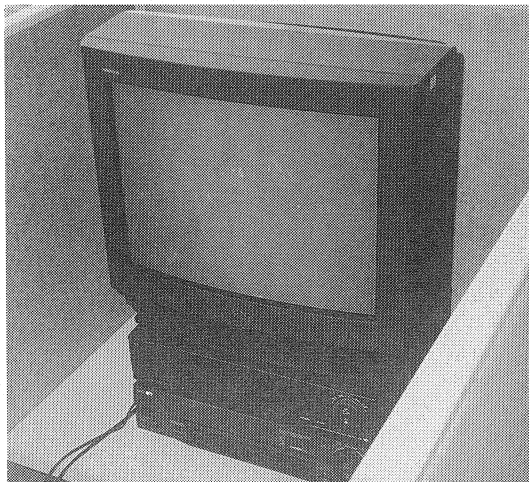
ビデオブースというのは、ビデオを写し出すテレビ画面をみる設備(写真参照)で専用のヘッドフォンをとおして、ビデオ教材を利用していくものである。今回は同窓会による百万円の寄付を体して、まず一台を導入し、さらにビデオ教材38巻を合わせて、その充実をはかることになった。

これによって、ビデオ教材を学生諸君が選択して学習できるようになる。今後、これを機に、さらに充実していくことが望まれる。

頼富本宏図書館長より、次のような御礼の御挨拶が述べられている。

「今般、同窓会の皆様方による新校舎竣工記念として、図書館の図書のご寄贈を申し出られ、図書館委員会の慎重なる検討の結果、VTR機器一式の購入にあてさせて頂くことを決定させて頂きました。本学の教育研究にとりまして視聴覚教材の充実が欠かせぬ重要な事項でありますだけに、同窓会の皆様のお申し出を大変ありがたく考えております。なお、ビデオ教材は、本学の特色を考慮して、以前NHK・TVで放映されましたシルクロード第1部、第2部及び日中共同取材シルクロードより合計38巻のビデオを用意しました。インド・チベットを経て中国に伝わった密教のルートを考究する上で、多くの学生諸君がこうした教材を通じて密教への関心を高めて頂きたいと考えております。今般の同窓会の皆様のご寄贈は本学の教育研究の一大画期となることを確信して御礼とさせて頂きます。」

なお、今般のVTR機器一式及びビデオ教材の具体的な事項は次の通りである。



ビデオブース	ビデオ教材
SONY VHS ビデオ	シルクロード 第1部 全12巻
マルチディスクプレーヤー	シルクロード 第2部 全18巻
21インチモニターTV	日中共同取材シルクロード全8巻
ヘッドフォン・AVブース	合計38巻 401,000円
椅子	総合計 1,000,000円
合計 599,000円	

平成4年3月卒業式

3月14日(土)午前10時より大学講堂にて、卒業証書授与式が開会。新校舎になってはじめて送り出す卒業式に、卒業生33名が出席、智積院能化藤井龍心院下をはじめ、各本山からの来賓のご出席をえてスタートした。

学長麻生文雄院下より、式辞が述べられ、新校舎にふさわしい充実した卒業生を送り出すことができたことを喜び、また、親しみ深く、卒業生諸君への花むけの言葉が述べられた。このあと、卒業証書が卒業生一人一人に手わたされた。今年から大学設置基準の変更にともない学位は、それぞれの所属したコース名が記され学士(仏教学、密教学、仏教福祉学)との表記になった。

このあと、来賓祝辞として、藤井龍心院下からお言葉があり、また、理事長代理今井圓明院下より真言宗京都学園のよって立つところが述べられた。また、学業賞に山本のり子さん、論文賞に鴨下正弘君、小坂昌孝君がそれぞれ高井隆秀学部長より賞を授けられた。なお、高野出版社賞は水谷裕子さんに授けられた。

最後にご宝号を唱和して、閉式となった。

卒業式終了後は、バスで京都国際ホテルにて卒業謝恩・祝賀会が来賓、教職員、父兄の参加をえて開催。卒業生吉田大治氏の司会により学長麻生文雄院下の挨拶、引き続き同窓会会長池田瑩輝院下より卒業生諸君の同窓会入会を祝してお祝いが述べられた。華やかな雰囲気のもと、卒業生諸君が将来の抱負を述べ合い散会となった。

[同窓会関係出席者]

手嶋千俊副会長、加門得勇常任幹事



平成3年度 卒業生・卒論題目

・仏教学コース

島川 正治 善導における称名念仏について

・密教学コース

池上 由起 金比羅信仰の一考察
 小野 智弘 児島八十八ヶ所について
 小松 道英 慈雲尊者と戒律について
 笹谷 浩章 第八、九住心について
 篠原 和則 不動明王の十九観について
 冨田 敦史 密教における護摩
 廣瀬 昌史 入唐以前の空海について
 水谷 裕子 密教経典における色彩について
 鴨下 直弘 密教における標識
 多田 真祥 曼荼羅について
 —金剛界曼荼羅について—
 廣濱 哲生 大日経息障品の研究

・仏教福祉学コース

赤平 稔里 障害児保育の意義と役割
 櫻村 敬二 在宅福祉における
 ホーム・ヘルパーの役割
 菊川 佳亜 高齢者における雇用就業対策について

小坂 昌孝 仏伝と仏教説話にみられる福祉思想
 相馬 明紀 児童の健康と児童福祉制度のあり方
 徳田 貴計 地域における民生委員の役割
 仲井 良治 重度障害児における労働とその意義
 —精神薄弱者共同作業所の一考察—
 長岡 誠宏 障害児の生活と福祉
 —障害児保育について—
 野々村高広 地域における独居老人に関する一考察
 野村 昌彦 有料老人ホームの現状と今後の課題
 福岡 圭二 障害者運動のあり方について
 福家 功 在宅痴呆性老人の対策と課題
 藤本 秀宣 養護施設退所後の進路問題について
 松村 義彦 低年齢非行における一考察
 薬師神啓司 高齢化社会における在宅福祉
 山本のり子 乳幼児健康診査における一考察
 —障害の早期発見・早期療育をめざして—
 吉村 浩一 老人家庭派遣奉仕活動に関する一考察
 石黒 音弥 高齢者福祉の現状と問題点について
 伊藤 伸浩 機能障害とリハビリテーション
 野澤 正宏 高齢者雇用の現状について
 村上 雅一 作業所活動の実態について

種智院大学長に今井圓明猷下、洛南高等学校・同附属中学校長に田中純應師



今井圓明猷下

真言宗京都学園理事会は、麻生文雄学長の後任に大本山中山寺長老 今井圓明猷下を選出した。今井新学長は昭和24年京都専門学校卒、宝塚市役所総務部長を経て、大本山中山寺総務部長、真言宗京都学園理事等を歴任、

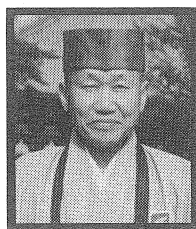
昨年2月より中山寺長老に就任、同窓会では常任幹事、兵庫支部長を歴任、現在、顧問である。

なお、同じく真言宗京都学園理事会は、洛南高等学校及び同附属中学校長に田中純應師を選出。田中新校長は、絵本山仁和寺執行長。昭和24年京都専門学校卒業、小学校長、京北町教育委員会教育長、御室派宗会議員等を歴任、真言宗京都学園理事に就任されている。



田中純應師

蛎田弘教副会長ご逝去



今年1月28日、ご逝去になった同窓会副会長蛎田弘教師のご葬儀は、1月30日午後1時より、御自坊の広島府中市安楽寺で、絵本山仁和寺門跡松村祐澄猷下

導師のもとで営まれた。蛎田師は、大正3年生、昭和11年京都専門学校卒業、戦後、安楽寺の復興に力を尽され、また、御室派宗会議員としても活躍され、地元府中市においても広い分野にわたって活動されてきた。同窓会では、昭和57年の発足以来、副会長の要職にあり、西中国支部長としてもご尽力頂き、母校の発展に寄与されてきた。

【計報】 一月正空大僧正(昭和2年)真言宗靈雲寺派 前管長、2月6日ご逝去 高見貴智氏(昭和24年、札幌市) 4月4日、ご逝去

【お詫び】 同窓会報第11号にて、竣工式出席者名のうち、同窓会・加門得勇師のお名前が漏れていました。お詫びし、加筆いたします。

北村太道教授チベット展

去る3月24日より5月31日まで、東寺宝物館において、北村太道教授(昭和36年)コレクションによる、チベット展が開催されている。今回の展示は、以前にもまして選びぬかれたコレクションの展示であり、また照明にも特に力を入れて、効果を高めている。また、ネパールより特別に二人の女性が来日して、各展示作品の案内をされるなど、ユニークな展示となっている。図録も大変すぐれており、詳細な説明が加えられている。なお、隆照堂より、北村教授コレクションを一堂に集めた写真集が刊行されている。

本山協力委員(敬称略・受付順)

大本山	清澄寺	有井良随	(昭和46年)
		国定道晃	(昭和50年)
総本山	善通寺	大林教善	(昭和47年)
		菅 智潤	(昭和47年)
大本山	中山寺	西田義範	(昭和62年)
		養学玉恵	(平成2年)
総本山	醍醐寺	田中祐弘	(昭和59年)
大本山	須磨寺	富永龍心	(昭和50年)
		田中鐘暁	(昭和58年)
		山下高仙	(昭和62年)
総本山	仁和寺	川井宏雄	(昭和35年)
総本山	智積院	北尾隆心	(昭和56年)

四国八十八ヶ所霊場会々長
耆宿、宗会議員
第六番安楽寺住職

畠田禪峰

〒七七一三
徳島県上板局区内 安楽寺
電話(〇八六)九四一〇四六(代)

大覚寺、中僧正
成羽町町議会議員、総務文教委員長
実相寺住職

田井秀戒

〒七六一〇一
岡山県川上郡成羽町大字下日名六六五
電話(〇八六)四二一三一九八

立橋ノ天景三日本

別格本山・西国二十八番札所・頼願天皇文武

真 哲 坪 石 寺 相 成 山 相 成
真 昭 坪 石 代表役員 長老95歳

宮津市字成相寺339